

令和6年度

関係人口創出・拡大のための対流促進事業 (中間支援組織の提案型モデル事業)

事業の実施結果 (概要)

団体名	株式会社NTT東日本-北海道
採択テーマ	道の駅
事業名	道の駅を中心とした“地域からの学び”による「地域共創型関係人口」の創出 ～子どもを起点とした持続的・波及的なモデル構築～

- 北海道幕別町の魅力を活かした「食・農の学び」「道の駅からの地域の魅力発信」をテーマとした探究型学習旅行の企画・実施。
- 道の駅活性化をテーマとする探究的な学び×地域貢献による相乗効果で地域共創型の持続的な関係人口の創出を目的とし、検証を行った。

1. 取組の目的

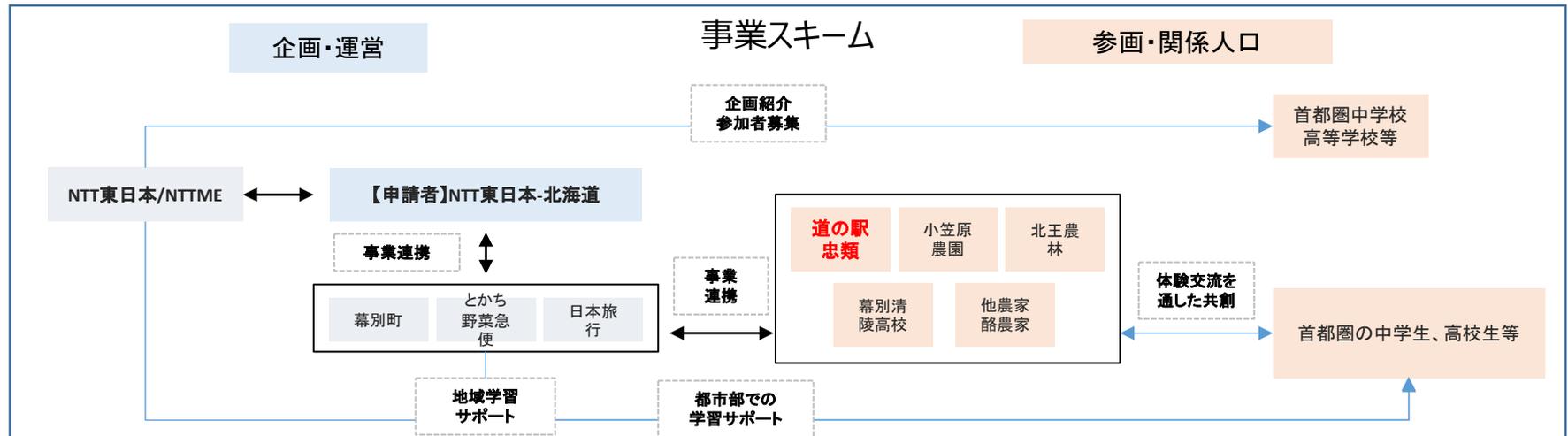
次産業（特に農業）を主幹産業とする北海道幕別町において、道の駅活性化をテーマとする探究的な学び×地域貢献による相乗効果で地域共創型の持続的な関係人口の創出を目的に実施した

2. 取組の概要

- 現地で食・農×道の駅をテーマとする探究型学習旅行を8/24～27の4日間開催し、生徒は一連の学習から道の駅の地元特産品のPRに挑戦した。

3. 取組の成果・地域への影響

- 参加生徒の再訪率80%以上の達成(KPI達成)**
参加生徒の80%が幕別町にまた訪れたい/住みたいと回答。
- 地域での取組の表面化によるシビックプライド向上**
生徒が自作の幕別町の「食・農」「特産品」のPRチラシを道の駅忠類に設置。訪問客の声から地域で“当たり前”の食事が魅力的であることの認知した旨の報告あり、シビックプライドの醸成を確認



1. 事前事後学習含めた幕別町探究学習型旅行の企画・実施

概要

- 北海道幕別町において8/24~27の日程にて、地域の主要産業である“食・農”を活かした探究型学習旅行の実施
- 事前事後学習含めてフードバリューチェーンを一連で体験し、現地の生産から都内の消費経路・関わる人の想いを含めて体感

成果

- 参加者 5 人
- 参加生徒の再訪率80%以上の達成(KPI達成)
- 参加生徒の80%が幕別町にまた訪れたい/住みたいと回答

参加者や地域の声

- 参加者（都市部生徒）から再訪希望の声があり、実際に2月に家族で再訪し、旅行内で協力いただいた農業従事者の方へ再度の農業体験を実施したとの声あり
- 地域住民（協力いただいた酪農家）からは、「改めて現地にとどまらずこういった幅広い生徒に対して、酪農の魅力を届けることで産業の持続性に貢献できた実感がある」との声あり

得られた気づきや知見

- 参加者と地域住民双方にとって意義のある事業とするためには、協力事業者の想いを伝える機会を担保する必要あり



収穫体験の様子



道の駅の紹介

2. 道の駅を中心とした魅力発信

概要

- 旅程内の学習内容を活用し、道の駅忠類の農作物・特産品のPR企画案を作成
- 幕別町町長に提案し、道の駅忠類にて実際に実施
- 実際に作成したPRは道の駅忠類設置し、地域内に生徒が感じた魅力を道の駅訪問客へPR実施

成果

- 地域での取組の表面化によるシビックプライド機運の醸成

参加者や地域の声

- 道の駅訪問者（地域住民）からは、訪問客の声から地域で“当たり前”の食事が魅力的であることの認知した旨の報告あり

得られた気づきや知見

- 都市部生徒の外的な目線から改めて、地域の産品の魅力を見つめ直す意見は、地元住民にとって“シビックプライドの醸成”を達成しうる重要な要因である



幕別町町長への発表



事後学習の様子

1. 取組の自立・自走化を図る上での課題

- ・ 道の駅を拠点とした地域の魅力である“食・農”をテーマとする探究型学習旅行により、子どもの関係人口化を確認
- ・ 一方で今回の5名の小人数単位での旅行催行では、収支面での自律・自走化が困難なことが課題として表面化
- ・ 1～2年の検証期間をもって、数十人～学校単位での生徒受入体制の構築とPKG化による運営の効率化により、自立・自走可能なモデルへの昇華の必要性あり
- ・ 自治体・体験事業者との連携による更なるコンテンツ磨き上げ、受け皿整備により、大人数団体を受け入れ可能なオペレーションを構築できるかが課題となる

2. 次年度以降の事業展開

- ・ 今年度事業の成果を踏まえ、日本全国の「道の駅」での横展開を見据えたパッケージ化(PKG)
- ・ 今年度実証成果を踏まえ、道の駅×地域資源を活用した探究型学習の一連の体験をPKG化を行い、より広い生徒ニーズを捉えた関係人口創出プログラムの創出を行う

	R7年度				R8年度以降
	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	通年
企画	旅行コンテンツ企画	内容確定と実施準備	旅行振り返りとマネタイズ化検討	次年度エリア交渉	旅行企画コンサル・マッチング事業性検証
運営	体験事業者との調整 生徒募集	参加生徒確定・事業者調整実施	運営オペレーション改善とアンケート集計	改運営の改善	運営の改善
実施		旅行実施			

3. 自立・自走化に向けた収支計画の概略

- ・ ①首都圏での探究型学習に特化している学校へのPKG導入し、持続的な関係人口の拡大を図る
- ・ ②他エリアへのモデル横展開を検討
- ・ 既に特定の学校の呼び込みで連携する山形県飯豊町、長野県喬木村などの「街の駅」を拠点とした探究型学習プログラムを弊社の各Gr.企業の地域リレーションを活かした横展開を自走化展開する

	費目	R6	R7	R8
支出	地域資源に合わせた探究型体験旅行の造成費 ※人件費、旅費	2,000千円	3,000千円	3,000千円
	探究型体験旅行の開催費 ※人件費、雑謝礼金	1,500千円	2,000千円	4,000千円
収入	地域(自治体等)から造成コンサルティング及びマッチング料	0円	1,500千円	5,000千円
	探究型体験旅行の売上	0円	3,000千円	10,000千円